

# 中島議員の一般質問について

令和7年3月定例会から12月定例会までの主な一般質問とその答弁

中島議員の一般質問動画



6月



9月

## 6月定例会

### 公共施設における環境整備

#### 公共施設における無線LAN環境の整備

**Q. 質問** Wi-Fi環境を整備した交流館以外の公共施設でのWi-Fi環境の整備の考え方は?

**A. 答弁** ▶ 交流館以外の施設については令和6年度に一部の施設において可搬型Wi-Fi端末での実証実験及びそれを踏まえたニーズ把握を行っているところだが、その他の施設についても、利用者のニーズ把握に努めるとともに、スマートフォンやパソコンなどモバイル端末のデータ通信に関する環境変化も注視しながら必要に応じて整備していく。

#### 障がい者活動拠点における施設環境整備

**Q. 質問** 障がい者総合福祉会館(サン・アビリティーズ豊田および豊田市障がい者福祉会館)は、改修などを行う計画はあるのか、豊田市公共建築物個別施設計画を踏まえた今後の対応は?

**A. 答弁** ▶ 長寿命化対策として、両施設の屋根・外壁の改修、キュービクルの更新を実施したほか、障がい者福祉会館のエレベーターや空調設備の更新を実施するなど、必要な改修等を行い、施設の利用環境の維持向上に努めている。  
▶ 今後も公共建築物個別施設計画に基づき、目標使用年数の60年以上の使用を前提に、利用ニーズ等も踏まえながら計画的に改修を実施しながら有効に活用していく。



## 9月定例会

### 多言語及び多文化共生社会の実現に向けて

#### 多言語及び多文化共生社会の取組

**Q. 質問** 豊田市の業務として、現在、取り組んでいる多言語対応は?また、今後、拡充する予定の取組は?

**A. 答弁** ▶ 豊田市では、「ユニバーサル市役所『とよた』ガイドライン」に基づき、外国人住民の国籍割合を踏まえ、必要性の高い、ポルトガル語、ベトナム語、英語、タガログ語の4言語を、優先して翻訳を行っている。これにより、豊田市の外国人住民の約75%の言語に対応することが可能。▶ 市役所の窓口、電話対応においては、各部署からの依頼に応じて、通訳者の派遣や、遠隔通訳サービスなどを活用し、円滑なコミュニケーション支援を行っている。▶ 情報発信については、市ホームページにおいて、ガイドラインに定められた言語に加え、スペイン語、中国語、韓国語を含む7言語と、「やさしい日本語」に対応することで、外国人住民が必要な情報にアクセスしやすい環境を整えている。

▶ 今後は、ガイドラインに基づき、ハザードマップや乳児健康診断診票などについても、順次、多言語対応を進める予定。

#### 特別支援教育推進計画策定に向けた取組

#### 特別支援教育の現状と計画策定に向けた取組

**Q. 質問** 特別支援教育推進計画に基づき、さらなる子ども一人一人の特性やニーズに応じた効果的な教育を推進する必要があるが、ニーズといっても多様であり計画だけでは対応できない部分がある。多様なニーズへの対応と特別支援教育の今後の方向性について、豊田市の考えは?

**A. 答弁** ▶ 特別な支援が必要な児童生徒数は増加しており、障がいや特性に応じた支援の在り方も多様化している。▶ 今後は計画に従って、教員の専門性を高めるとともに、学校を中心に関係機関等と連携しながら様々な施策に取り組み、児童生徒に必要な支援が行えるように対応していく。▶ 共生社会に向けた多様性の理解を育むとともに、特別な支援を必要とする児童生徒のニーズに応じる多様な学びの場を用意し、切れ目ない支援を行っていく。



## 中島議員が所属する市議会会派「新しい風とよた」の討論について

令和7年3月定例会から12月定例会までの主な賛否討論

### 賛成 豊田市駅東口交通広場整備工事に関する工事請負契約の締結について (一部抜粋)

本議案は、都心地区のにぎわい創出に資する、極めて重要な事業と捉えております。現況を踏まえた交通動線や安全性にも十分配慮されており、本市の将来を見据えた都市整備として高く評価いたします。  
なかでも、「東口交通広場」は、タクシーや一般送迎車両の円滑な通行を実現する配置計画となっており、評価いたします。また、当初の都市計画決定時には、東口バスターミナル廃止後のフルモール化や、喜多町4丁目バス停から西口バスターミナルまでの区間にはバス停を設けない計画でした。しかし、二度にわたる交通実証実験を実施した結果、これが大きく転換され、東口に上屋を含むバス停を新設するなど市民の声に耳を傾けた英断を高く評価いたします。また、本事業は交付金の活用も予定されており、財源確保の観点からも適切な対応が図られているものと理解します。一方で、本工事の契約額には「週休2日制工事」の、関連経費が含まれておりません。今後、増額補正の可能性を忘れてはなりません。  
また、安全面への配慮は理解するものの、タクシー動線が多くの利用者にとって目的地まで大回りとなり、結果的に料金に影響が出る懸念がありますので、指摘しておきます。  
以上、課題は散見されるものの、将来を見据えた重要な事業であると判断し、賛成いたします。

※「新しい風とよた」とは、中島議員が所属する市議会会派であり、三人で構成されています。「心が聴こえる市政の会」とは別のものになります。

### 賛成

## 歳入総額2466億円余・歳出総額2295億円余に関する令和6年度豊田市一般会計決算 (一部抜粋)

#### ふるさと寄附金について

まずは、本来の趣旨と実情がずれています。市民税の控除により、個人市民税では17億8000万円余、法人市民税では11億3000万円余の減収が確認できました。そうした中、豊田市は「ふるさと寄附金制度」の適正化や制度の抜本的な見直しなどを国に要望したことを高く評価いたします。また、ラリージャパン観戦券や独自の工業製品を返礼サービスとして提供し、他市との差別化を図っている点も評価いたします。

これらの事業を含む令和6年度豊田市一般会計決算を評価し、認定すべきと考えます。

#### いじめ・不登校対策事業について

令和6年度の子どもの権利相談室での相談内容の15.6%がいじめに関するものでした。令和6年度、いじめによって不登校になった児童の保護者が学校に訴えたところ、学校側が「いじめとは捉えていない」と回答したことを問題視しています。一方で、いじめの認知件数は令和5年度の1973件から令和6年度には1454件に減少しており、様々な取り組みの効果と理解し、評価いたします。

### 反対

## 市長や議員等のボーナスの引き上げ (一部抜粋)

私たちは、議員、特別職等の報酬、給与等の引き上げについて、一律に反対ということではありません。現時点で最新である豊田景気実感調査においても「豊田の景況感、全国比で弱く足踏み状態が継続中」という評価です。豊田市で景況感が高まっていないなか、議員の期末手当の引き上げ、および市長をはじめとする特別職職員等の期末手当の引き上げは、市民理解が得られないと判断し、反対します。

### 令和6年度執行実績

項目	執行金額(円)
研修費	524,053
調査研究費	321,724
資料購入費	35,510
広報広聴費	355,163
事務費	5,288
合計	1,241,738
残額	558,262

### 中島議員が所属する市議会会派

令和6年度執行実績

## 「新しい風とよた」政務活動費の執行状況について

※それぞれの支出項目に含まれている意思疎通支援者謝礼(手話通訳等)の総額は309,523円でした。残額については、全て市へ返納しています。  
※三人会派新しい風とよたに所属しているため、年間180万円となります。

※政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部を補助し、議員の政策形成能力や審議機能の強化のために、会派及び議員(会派に所属する者を除く。)に対して交付しています。交付額は一人あたり年間60万円以内で、余ったら市に返還しなければならないというルールがあります。各派の執行状況については豊田市議会ホームページや豊田市委務所南庁舎1階にある市政情報コーナーで閲覧できます。

## 市政・議会に関する意見や要望などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

中島議員は耳が不自由です。ご連絡の際には、FAXかメールにてお願い申し上げます。

【発行】心が聴こえる市政の会 【発行責任者】中島 竜二  
豊田市花園町小泉82-1 FAX.53-1499  
E-mail:nakajimaryuji@outlook.com

### SNSはコチラから▶



<https://nakajima-ryuji.com/>

